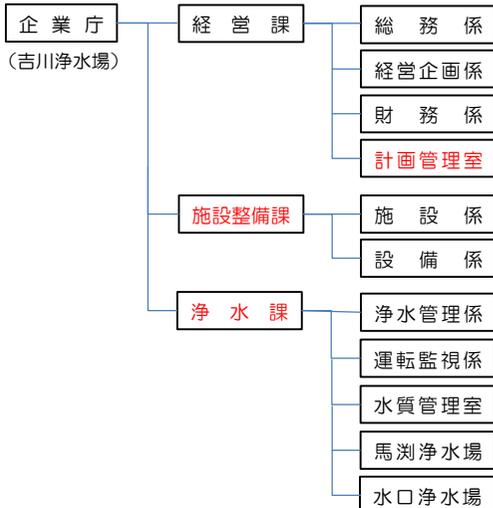


組織図



経営課21名、施設整備課16名、浄水課30名 計67名
※朱書きの所属、室は水道技術職員在籍（令和8年1月現在）

企業庁に採用されたら...

- ✓ 職種の特長性が高く、水道職のエキスパートを目指せます。
- ✓ 勤務範囲が限定的で、異動があっても引越したり単身赴任が伴うものは基本的にありません。
(ほぼ全職員が吉川浄水場・馬淵浄水場・水口浄水場のいずれかに勤務)
- ✓ 県庁の関連行政部門や他の水道事業者との人材交流も行っていきます。
(生活衛生課、大津市企業局等)
- ✓ 定期的なジョブローテーションにより様々な経験を積み、キャリア形成を行えます。
- ✓ 外部機関（日本水道協会等）主催の研修へ積極的に参加し、水道職に必要な専門知識の習得を支援しています。

勤務条件・福利厚生

初任給	255,419円（経歴等による加算あり） ※地域手当を含む、令和8年4月現在のもの	勤務時間	午前8時30分から午後5時15分まで
諸手当	扶養手当、通勤手当、住居手当、地域手当、期末・勤労手当等支給条件に応じて支給があります。	休日	土・日曜日、祝日、年末年始 ※交代制勤務なし
勤務地	・吉川浄水場（野洲市吉川3382） ・馬淵浄水場（近江八幡市馬淵町1875） ・水口浄水場（甲賀市水口町水口6184）	休暇制度	年次有給休暇、特別休暇（病気、急引、夏季、結婚、産前産後、育児時間、ホリデイ、配偶者出産、男性職員育児等）、介護休暇、育児休業等の制度があります。
福利厚生	職員住宅（単身用・世帯用）、宿泊・保養施設、共済・互助会制度、保険事業、サークル活動等、県職員と同様の福利厚生を利用できます。		

お問い合わせ

● 滋賀県企業庁経営課

Tel : 077-589-4608
Fax : 077-589-4715
E-mail : na01100@pref.shiga.lg.jp

● 滋賀県企業庁HP

<https://www.pref.shiga.lg.jp/kigyuu/>



(2019.11作成、2021.7改訂、2023.5改訂、2024.5改訂、2025.5改訂)

滋賀県職員（水道職） お仕事案内

～信頼の水で、地域の未来に貢献します～



滋賀県 企業庁

企業庁の役割

滋賀県企業庁では「水道用水供給事業」、「工業用水道事業」の2つの事業を経営しており、より「安全」で「安心」できる水を「安定」して供給するため、休むことなく、水道を見守っています。

- 水道用水供給事業・・・生活に欠かせない水道水を市町の水道施設に供給する仕事です。いわば「水道水の卸売業」にあたるものです。
- 工業用水道事業・・・工場等で使用される水（冷却水や洗浄水等）を供給する仕事です。

整備

ライフラインの保全・整備

浄水場、水道管等の整備を行い、各施設・設備を維持していくため、点検・修繕工事などの発注や現場の監督業務などを行っています。

供給

施設運営による安定供給

遠方監視システムで各浄水場や調整池等の水量・水質の調整を24時間体制（夜間は業者に委託）で実施し、いつでも「安定」した水の供給を行っています。

検査

高いレベルでの水質管理

水道水が安全・安心であることを証明するため、水道GLPをもとにした高い精度の水質検査や、水質改善の為の調査・研究を行っています。

発信

県民への情報発信

浄水場見学や小学校へのお出前講座など、水道事業や水の大切さをPRするために様々な活動を行っています。

仕事紹介（水道職）

水道職は『化学』『機械』『電気』の3分野を専門とした職員で構成されています。それぞれの分野ごとに様々な仕事があり、その一部を先輩職員の「生の声」として紹介します。

先輩職員の声（化学）

武田技師（浄水課水質管理室） 令和5年入庁

※職名・所属は取材当時

＜仕事内容＞
水質管理室では、主に企業庁が供給する水道水や水源となる琵琶湖水・河川水質の分析を行っています。また、かび臭等水道水質の障害となる問題について調査研究を行い、水処理の改善や検討なども行っています。

＜やりがい・難しさ＞
水道水質には法令で定められた水質基準が50項目以上あり、分析を正確かつ精度よく行うためには「化学」の専門性や経験が必要になります。日々の水質検査や水道水質に係る調査研究などを行い、水道の安全・安心を担うことができることにやりがいを感じています。

＜企業庁の魅力＞
水質管理室は様々な装置を所有しており、水質分析のための環境が整備されています。全ての水質基準項目を高い信頼性のもと自主検査でき、水道GLPを取得している県内でも数少ない水道事業体であることも企業庁の魅力の1つだと思います。



- 8:30 始業（朝礼）
- 金属測定前処理
- 別項目の測定準備
- 12:00 昼休み（1h）
- 金属測定
- 測定データ解析
- 結果報告書類作成
- 17:15 退庁



黒田技師（浄水課運転監視係） 令和5年入庁

※職名・所属は取材当時

＜仕事内容＞
運転監視係では、琵琶湖と野洲川から取水し、浄水場で上水・工水を作り、各市町や企業へ送水するまでの施設の運転監視業務を行っています。送水量、水質、機器の故障等を監視し、必要に応じてポンプの発停や薬品注入量の変更等の操作を行います。機器の故障が発生した際には、職員で調査・修繕を行うか、修繕工事の発注および施工管理を行い、浄水場の維持管理をしています。

＜やりがい・難しさ＞
監視業務においては、安定給水を第一に考え、何も起こらなかった日にこそ達成感を感じます。機器の故障が起きてしまった場合、浄水場には多種多様な設備があり、それぞれの故障の原因を見極め解決していくことに難しさと面白さがあります。

＜企業庁の魅力＞
機械でも、流体、制御、材料等の知識、現場での機械の分解、組立作業等、一人一人の得意分野を活かせる場所・仕事があります。

- 8:30 始業（朝礼）
- 監視業務引継ぎ
- 浄水場内点検
- 12:00 昼休み（1h）
- 工事関係打合せ
- 修繕工事の設計
- 17:15 退庁

先輩職員の声（電気）

岡田主任技師（浄水課浄水管理係） 令和2年入庁

※職名・所属は取材当時

＜仕事内容＞
浄水課浄水管理係では、主に浄水場外施設の維持管理を行っており、維持管理に伴う業務委託や修繕工事の設計（費用の算出等）、工事管理（現場立会等）を行います。また各市町・企業に送る水道管の管理も行い、修繕工事の対応や洗管、各業者との近接協議なども行います。万が一漏水や油流入などの事故が発生した場合、すぐに復旧対応を行います。

＜やりがい・難しさ＞
浄水場での業務は様々なものがあり、電気だけでなく、化学や土木などの知識やトラブルなどに臨機応変に対応するスキルが求められます。各種トラブルに対応できたときや大きな仕事をやり終えたときなど達成感を得ることができます。

＜企業庁の魅力＞
私は前職で電気職と関係のない仕事をしていたのですが、実務未経験でも経験豊富な先輩職員の指導の下、たくさんの業務を経験できます。また、休暇を取りやすい環境があるので仕事と生活の両立ができます。



- 8:30 設備修繕の業者打合せ
- 修繕工事の設計
- 12:00 昼休み（1h）
- 埋設管路パトロール
- 場外設備点検
- 17:15 退庁

その他の仕事

○事務関連の仕事（経営課/総務係ほか・計画管理室）

給与、工事の入札・契約事務、予算・決算作業、日々の支払い事務、水道料金の算定、経営戦略の策定、広報、危機管理対応、補助事業の調整、積算基準の改定など事務的な仕事の全般を行っています。

○土木関連の仕事（施設整備課/施設係・浄水場耐震対策室）

水道管の布設・更新、浄水場施設の更新など土木関係の工事や設計業務の発注、工事監理等の仕事を行っています。



～浄水場見学案内～
（経営企画係）

～水道管の布設・更新～ （施設係）





三上 淳
Mikami Atsushi
企業庁浄水課浄水管理係長

明日の滋賀を創る水 信頼の水で、地域の未来に貢献します

DAILY JOB



◎整備
浄水場や水道管等の設備を行い、各施設の維持が行われている。災害や事故が発生したときも、迅速かつ的確に対応できるよう、点検や修繕工事などの発注や現場監督などを行っている。



◎検査
定期的な水質検査に加え、異常時には臨時で水質検査が実施されている。水道水が安心・安全であることを証明するため高い精度の検査、調査、研究が行われている。



◎供給
遠方管理システムで各浄水場や調整池等の水量・水質等の調整を24時間体制の（夜間は委託）でしている。いつでも水を止めることなく、安定した供給ができるよう、水道を見守っている。

水道職になるには？

- ・ 資格要件はありません
- ・ 入庁後に勉強していけば問題ありません
- ・ 先輩職員が現場で指導します
- ・ 責任感のある人は大歓迎です
- ・ 転職者も多数在籍しています

VOICE



◎水道職に求められる資質
チームで住民の皆様へ安心安全な水を届けたいといけなないので、チームでの仕事が好きで、責任感が強い人は向いていると思います

◎仕事のやりがい
漏水時に断水しないようにシミュレーションし、復旧していく仕事にやりがいを感じます

◎印象に残った仕事
令和6年能登半島地震の被災地支援です。ライフラインである水の安定供給のために水道職の専門技術を活かした支援を行いました

↓実際の被災地支援時の様子↓



浄水課 浄水管理係 岡田主任技師

◎業務内容
安全な水を供給するために水質の検査を行っています。国で指定された基準を満たすように日々取り組んでいます

◎志望動機
ライフラインを支える仕事がしたいと思っていた中で、県民の皆様へ安心安全でおいしい水を届けるための仕事に魅力を感じ、水道職を選びました



浄水課 水質管理室 武田技師

◎業務内容
県内にある4つの浄水場の機械運転状況の監視や送水に異常が発生した際の対応等を行っています

◎仕事のやりがい
県民の方の飲む水を安定供給できていることに日々やりがいを感じています

◎職場の雰囲気
明るい職場で先輩方には日頃から悩み相談に乗っていただいています



浄水課 運転監視係 黒田技師

係長からみて職場の雰囲気は？

水道職のプロパー職員は約40名で、顔の見える関係で風通しも良く、相談しやすいと思います。

企業庁の仕事はどう？

今日も無事水を届けることができたという達成感があり、やりがいのある仕事です。

若手に対して思うことは？

これまで自分が上司にもなったように、一緒に行動するなかで経験を伝え、技術継承をしていきたいです。現場に行って自分の目で見て、触れることが大切で、柔軟な発想で水道事業に向き合ってほしいです。



↑被災地支援等で使用する給水車↑



企業庁の不思議

企業庁の検査室には魚が泳ぐ水槽があります。鑑賞用？非常食？魚たちはどのような役割を担っているのでしょうか。



企業庁浄水課第一の試験室で飼育されている魚

企業庁浄水課第三の試験室の試験室

【写真】

滋賀県企業庁では「水道用水供給事業」と「工業用水道事業」の2つの事業を営み、365日24時間水道を見守っています。

安全で良質な水を安定して供給します。信頼を支える**強靱**なライフラインを構築します。社会の変化に対応した**持続**可能な経営を推進します。

上記の基本目標に掲げる3つの視点に基づいて、工場等で使用される水の供給、また琵琶湖や川の水を浄水場で飲み水にして周辺の市町の配水池まで送ることが企業庁の役割です。

「滋賀の水は美味しい、〇〇の水は飲めたものじゃない…」なんて会話をよく耳にしますが、それはまさに企業庁で働く職員たちの日々の努力の賜物です。

三上係長はそんな彼らのことを「縁の下の力持ち」と表現します。